

○●横浜市医療安全メールマガジン<第200号>●○
～横浜市市民向け講演会開催のお知らせ～

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！
医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

■横浜市市民向け講演会を開催します！

横浜市では毎年1回、横浜市市民向け講演会を開催しています。

日時：令和6年12月22日（日）14:00～15:30（受付開始 13:30～）

会場：横浜市庁舎1階 アトリウム（横浜市中区本町6丁目-50-10）

内容：「知って得する医療のかかり方～患者の視点・医師の視点の違いから～」

講師：山本 健人 氏

医師・博士（医学）。外科医専門医、消化器病専門医等の資格を持つ。

「医師と患者の垣根をなくしたい」をテーマに「外科医けいゆう」のペンネーム

で

医療情報サイト「外科医の視点」を運営する等、様々な活動に取り組んでいる。

申込期間：2024年11月11日（月）～12月13日（金） 先着150名

申込方法やその他詳細については、横浜市ホームページをご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/shimin.html>

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.

○●横浜市医療安全メールマガジン<第201号>●○

★今月のテーマ★

～人生会議について考えよう！その①～

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！

医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

今月号では、11月30日が「人生会議の日」であることにちなみ、ACPの大切さについて紹介していきます。

■人生会議って何？

もしものときに、どのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有することを「人生会議」（アドバンス・ケア・プランニング：略称ACP）といいます。

人生会議が行われていれば、患者さんが望んでいる医療やケアの提供に繋がる可能性が高くなります。

横浜市は、人生会議の理解を深めるYouTube短編ドラマ【主演：竹中直人さん、高島礼子さん】を公開しています。患者さん向けの講座や、院内研修にも活用していただいています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/zaitaku/acp/ACPdorama.html>

横浜市では、人生会議に関する啓発ツールを、複数作成しています。

市内の医療機関へ、「もしも手帳」やポスター、サイネージ動画などを無料でお送りすることができます。ご希望があれば、医療局地域医療課（ir-zaitakuiryo@city.yokohama.lg.jp）までご相談ください。

次号では、「もしも手帳」についてご紹介します。

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzengan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.

○●横浜市医療安全メールマガジン<第202号>●○

★今月のテーマ★

～人生会議について考えよう！その②～

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！

医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

■人生会議のきっかけに「もしも手帳」

人生会議をすすめるためには、話し合いのきっかけ作りが大切です。

そのツールとして、横浜市では、医療・ケアについての「もしも手帳」を作成・配布しています。

・簡単な3つの質問に答えることで、もしものときにどのような医療やケアを望むのかを前もって話し合い、自身の思いを伝えるための手帳です。

①どんな治療・ケアを受けたいか

②代わりに誰に治療・ケア内容を決めてほしいか

③最期をどこで過ごしたいか

・「もしも手帳」を知っている人は、知らない人に比べて、人生会議を実践している人が顕著に多いことが、市民意識調査で明らかになっています。

・この手帳をきっかけに人生会議が普及すると、①患者さんの希望に沿った医療が受けられる可能性が高くなる、②医療従事者も患者本人が望む医療を推測しやすくなる、といった効果があります。

▼「もしも手帳」についての詳細はこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/zaitaku/acp/moshimo2021.html>

従来よりも使いやすくなるように、もしも手帳の以下の点を改訂しました。（改訂版発行日：令和6年10月）

- ・3つの質問へ答える前に、自身の価値観を改めて考えることができるよう、「あなたの大切にしていること」の記入欄を新設しました。
- ・記入欄を大きくし、より書きやすくなりました。
- ・「救急あんしんカード」と一体的に配布するようになりました。

次号では、「救急あんしんカード」の内容と、一体的に配る効果についてご紹介いたします。

■「もしも手帳」などの啓発ツールは無料でお送りできます！

市内の医療機関へ「もしも手帳」やポスター、サイネージ動画などの啓発ツールを無料でお送りすることができます。ご希望があれば、医療局地域医療課（ir-zaitakuiryo@city.yokohama.lg.jp）までご相談ください。

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights (C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.

○●横浜市医療安全メールマガジン<第203号>●○

★今月のテーマ★

～人生会議について考えよう！その③～

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！

医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

■「もしも手帳」のカバーに挟まっている「救急あんしんカード」って？

病気やケガをしたときに、誰に連絡をするのか、何をすればいいのかを日ごろから考え、備えておくためのカードです。

救急車を呼んだときに救急隊に提示することで、適切な医療機関への搬送や、迅速な応急処置にも役立ちます。

・「もしも手帳」のカバーに「救急あんしんカード」も挟み込まれています。

・「救急あんしんカード」への記載とあわせて「もしも手帳」を活用することで、ご本人が望む対応や適切な医療の提供につながるかもしれません。

・カバーには、診察券やおくすり手帳、保険証などをまとめておくよう勧めておくと、より効果を期待できるかも？

▼救急あんしんカードについての詳細はこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/kyukyu/anshin/anshinkyukyu.html#A7694>

■「もしも手帳」などの啓発ツールは無料でお送りできます！

市内の医療機関へ、「もしも手帳」やポスター、サイネージ動画などの啓発ツールを無料でお送りすることができます。ご希望があれば、医療局地域医療課

(ir-zaitakuiryo@city.yokohama.lg.jp)までご相談ください。

★編集後記★

今月は人生会議についてとりあげました。

人生会議がより一層、医療従事者の皆様にも市民にも広まることで、患者様が望んでいる医療やケアの提供ができる可能性が高まります。

横浜市では「もしも手帳」をはじめ、様々なツールを無料でお送りしていますので、ぜひご利用ください。

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.